

ぎふ感染症かわら版

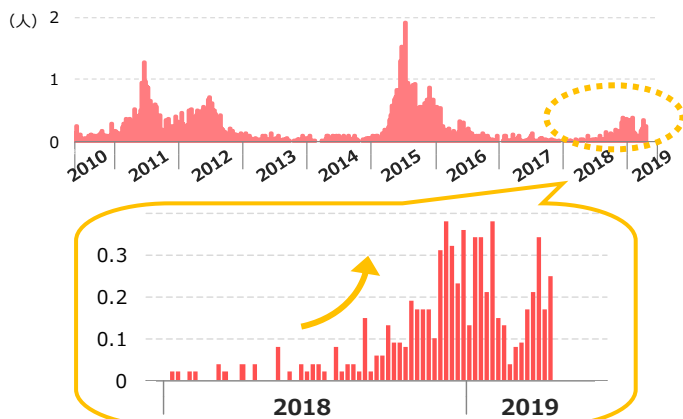
平成 31 年 4 月 19 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



伝染性紅斑（リンゴ病）の患者が増加しています！

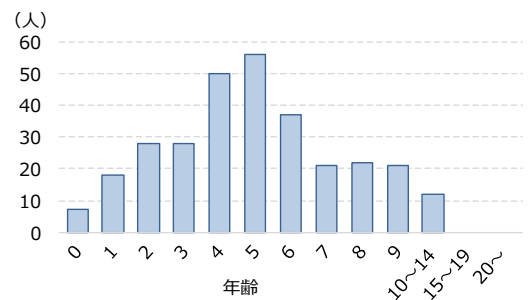
伝染性紅斑は、ほほが赤くなることからリンゴ病とも呼ばれ、お子さんに多い感染症です。国内では約 4 年ごとに流行がみられ、今回は 2015 年に県内で流行しました。昨年秋ごろから、全国的にも、県内でも患者が増加しています。今後しばらく流行が続くと予想されますので、お子さんや妊婦さんは注意が必要です。

伝染性紅斑の患者数の推移（1 医療機関あたり患者数/週）



* 県内 53 か所の医療機関からの週ごとの報告

伝染性紅斑患者の年齢



* 2018 年 10 月 1 日～2019 年 4 月 14 日
に報告された患者 300 人の内訳

5 歳をピークに
広い年代のお子さんが
かかっています



どんな病気？

ヒトパルボウイルス B19 による感染症です。
感染すると 10～20 日後に、**両頬に赤い発疹**や**手足にレース状の発疹**が現れます。
お子さんがかかることが多く、ほとんどは軽い症状で自然に治りますが、
妊婦さんが感染すると胎児の異常（胎児水腫）や流産を起こすことがあります。

どうやってうつるの？ 予防方法は？

咳やくしゃみのしぶきによる**飛沫感染**や、
ウイルスのついた手で鼻や口に触れることによる**接触感染**でうつります。
感染した人が、周りへの感染力を持つのは症状が出る前の期間で、
赤い発疹が現れたころには、周りの人にうつすことはほとんどありません。
そのため、気づかないうちに感染してしまうことがあり、ワクチンもないため
予防は難しい面もありますが、**手洗い**や**咳エチケット**など、
日ごろの**基本的な予防対策**が大切になります。
妊婦さんや、妊婦の周囲の方は特に予防に心がけましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

